整理番号	受付年月日	相談者	相談方法
２－６－１	2017.2.20	匿名	直接

質問内容

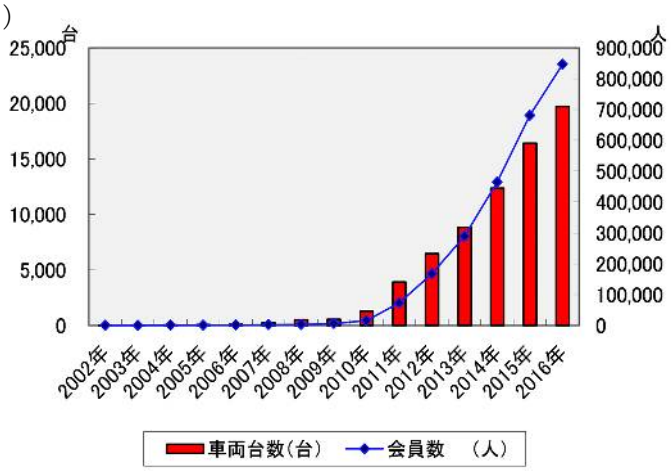
都会ではカーシェアリングがはやり出していると聞きました。現況を教えて下さい。

回　答

カーシェアリングとは、1 台の自動車を複数の会員が共同で利用する自動車の新しい利用形態で、当初は仲間同士等で自然発生的に行われていたものが、組織的に運営されるようになったものです。相乗りとは異なり、複数の会員が時間を変えて 1 台の自動車を利用します。

公益財団法人の交通エコロジー・モビリティ財団(*1)による 2016 年 3 月の調査では、車両ステーション数 10,810 カ所（前年比 14%増）、車両台数は 19,717 台（同 20%増）、会員数は 846,240 人（同 24%増）とここ数年急速な増加傾向にあります。（右記グラフ参照）

財団ではわが国のカーシェアリング事業者であるシーイーブイシェアリング(株)の会員に対するアンケート調査を実施し、入会前と比べて会員の自動車保有台数や自動車走行距離が大幅に減少して、公共交通や徒歩・自転車の利用が増加し、環境負荷低減効果の期待できるとする報告書(*2)を出しています。



山口県においてはUPR（ユーピーアール）(株)(*3＆*4)が 2013 年からカーシェアリング事業を開始し、2016 年の 3 月現在で、会員数：141 名、車両数：10 台、車両ステーション数：8 ヶ所となっています。

カーシェアリングは自動車への過度の依存を抑制し、環境にやさしい移動手段への移行を促進する有効な施策です。都市部の渋滞緩和、駐車スペースの節減、環境負荷低減、車両保有コスト低減など様々なメリットがあるカーシェアリングはこれからの都市交通のあり方として公共交通との連携の図りながら一層発展してゆくものと考えられます。

参　考

＊1：http://www.ecomo.or.jp/environment/carshare/carshare_top.html

＊2：http://www.ecomo.or.jp/environment/carshare/data/news_cs_kankyo_kaizenkoka_06.06.22.pdf

＊3：http://www.ecomo.or.jp/environment/carshare/carshare_list.html

＊4：http://www.upr-carshare.jp/business/service/